

第5回例会 2014.07.28-2014.08.01 [会長挨拶]

みなさんこんにちは 2730 ジャパンカレントロータリーEクラブ第5回例会を開催いたします。

さて、7月22日に鹿児島県庁記者クラブにて、私たちEクラブの認証について記者会見を行い、深尾開設準備室委員長、川平開設準備室副委員長、桐明広報委員長、私の三人で出席してきました。

私たちのEクラブが九州で初ということもあり、記者の方々も興味を持っていただき、24日南日本新聞朝刊に掲載されました。まだまだ駆け出したばかりの私たちでありますので、少しでも多くの人に知っていただくような活動をしていかなければなりません。各委員会においても、広報委員会と協力をしながら計画していただければと思います。

私たちのジャパンカレントは「黒潮」から名前をつけていただきましたが、先週、7月21日は「海の日」でありました。私も、昨年まで指導してきた水泳教室のお手伝いとして、また今年がこの大会の30回記念ということもあり、最近は天候に恵まれず湾内での実施でしたが、今年は天気も快晴に恵まれ、8年ぶりに阿久根大島からの遠泳を子供たちと泳いできました。

就職して間もない頃から、仕事の関係もあって、一般の人たちが指導者になって水泳の指導をする「泳げない子の水泳教室」(現在はチャレンジアップスイミング)の指導者として主に教室の入り口となる小学校2年生のクラスを受け持っていました。毎年30人から50人程度の子供たちを受け持ちます。中には顔を付けられない子供たちが2~3人はおり、その理由もさまざまです、中には顔は親に毎回タオルで拭いてもらっていて、それまで一度も顔を水につけたことがない子供もいます。

それを、顔を洗う練習から始め、なだめながら、叱りながら、いろんな手法を繰り出しながら指導をしていくわけですが、一番効果的な言葉が一つあります「みんなお母さんのお腹の中で大切にされ、10か月泳いでから生まれてきて、今はその泳ぎ方を忘れていただけなんだよ」という声かけをするだけで、はっとして顔を付けて泳ぎだす子供もいるから不思議な世界です。

昔、そうだった子供も年々上達して泳げるようになり、卒業前には約3キロの遠泳を泳げるようになる。私たちも、今駆け出したばかりではありますが、ジャパンカレントのクラブ名のとおり、海流に乗って地区内の各クラブに、そして国内、世界へ情報発信していくクラブと成長していけばと思います。